



こんにちは としょかんです

9月

Vol. 140

発行 延岡市立図書館 〒882-0812 延岡市本小路39-1
TEL 0982-32-3058 FAX 0982-22-0644

～ ふくろう通りの企画展 ～ ※新型コロナウイルスの影響により、展示期間が変更となる場合があります。

世界アルツハイマーデー関連企画展

「認知症を知る—食と認知症—」

【展示期間】9/3 (土) ~ 10/6 (木)

毎年九州保健福祉大学付属図書館と連携して行う、認知症に関する展示を今年も行います。今回は9/21の世界アルツハイマーデーにあわせて開催します。今回のテーマは「食と認知症」。市の健康長寿課とも連携し、食材や食生活の面から認知症との関わりについて考える展示を行います。

【展示予定の本】



『認知症を予防する食事』

川口 美喜子//著 (亜紀書房)

「幸せな食事」は人それぞれ。いつまでも食を楽しむ、自分らしく、健康でいてほしい。そんな願いを込めて書かれたこの本。「糖質は全体の6割以下」、「先に野菜を食べる」など、具体的なアドバイスが多数書かれています。

敬老の日におすすめする本展

【展示期間】9/3 (土) ~ 10/6 (木)

早いもので秋を迎える季節となり、毎年恒例のこの展示を、今年も開催します。読書推進運動協議会による、今年と去年のリーフレットに掲載された本をご紹介します。敬老の日に向けての展示ですが、若い方にも読んで欲しい本が多数ありますので、老いも若きも、この機会に本を読んではいかがでしょう。ぜひご覧ください。

【展示予定の本】



『枯れてこそ美しく』

戸田 奈津子・村瀬 実恵子//著 (集英社)

映画字幕翻訳者である戸田氏と、コロンビア大学名誉教授の村瀬先生のおしゃれや運命の出会い、仕事の意味や生活についてなど、様々なテーマのトークを収録した一冊。

延岡と土持氏

中世の延岡は、土持氏に治められていたと一般的に知られていると思います。しかし土持氏以外が支配していた時期もあったことをご存じでしょうか。

土持氏は奈良時代の欽明31年(589年)に県(現在の延岡)に封ぜられ、延岡は土持氏支配の地となります。しかし平安時代の貞観元年(859年)に土持氏が三河国に転封となり、延岡は高千穂三田井家が支配することとなります。約300年後の保元2年(1157年)土持氏が日向の国を賜り、再び延岡は土持氏の地となります。

その後、鎌倉時代には、源頼朝が工藤祐経を県庄の地頭としました。建久8年(1197年)の建久岡田帳(けんきゅうずでんちょう)によると、宇佐宮(宇佐八幡神宮のこと)の領土である千九百十三町のうち、

県庄百三十町 富田庄八十町 地頭(じとう)故勲藤原衛門尉(こくんふじわらえものじょう) 実名知らず(工藤祐経、もしくはその子である祐時と見られる)

岡富庄八十町 弁済使(べんざいし)土持太郎宣綱(土持宣綱)

※地頭は、一定の地域の土地やその住人の管理をする者で、弁済使は、主に官物租米などを収納し管理する者のことです。

とあり、延岡の地は、県と岡富に分けられ、県は当時土持氏支配の地ではなかったことが分かります。この工藤氏の末裔(まつえい)である伊東氏と土持氏は、初めの頃は良好な関係でしたがその後対立するようになりました。安土桃山時代の天正5年(1577年)に伊東氏が没落し、翌年には県の土持氏も大友宗麟に攻められて滅んでしまいます。この後、豊臣秀吉が日向の諸侯を封じ、延岡は高橋元種に治められることとなりました。

参考文献:『延岡郷土史年代表』延岡郷土史年代表編集委員会//編(延岡史談会)

『日向郷土史料集 第5巻』石川恒太郎他//編(日向郷土史料集刊行会) など

司書おすすめの本



『岡田斗司夫ゼミのサイコパス人生相談』

岡田 斗司夫//著 (インプレス)
相談者に付度しない岡田斗司夫が、問題をシンプルに分解し、隠したい悩みの本質を見抜いて答えます。



『ホホジロザメ』

沼口 麻子//文 関 俊一//絵 (福音館書店)
世界中のほぼすべての海に棲んでいるホホジロザメをテーマにした絵本。その生態を迫力ある絵で描きます。



『図説世界の吸血動物』

浅川 満彦//監修 (グラフィック社)
昆虫から脊椎動物まで、現在知られている吸血動物をほぼ全て網羅し、多くの写真で紹介しています。



『押す図鑑 ボタン』

西村 まさゆき//編著 (小学館)
乗り物のボタンをはじめ、さまざまな思わず「ポチッ」と押したくなるボタン50種類以上を写真や図で紹介しています。



『復活事典「再ブレイク」モノ&コトカタログ』

造事務所//編著 (カンゼン)
復活には、全て理由がある！近年、再沸騰したモノ&コト100を紹介しています。



『うまにんげん』

板尾 創路//作 大串 ゆうじ//絵 (岩崎書店)
ぼくの名前はケンタ。ある日猛スピードで走ってきた子馬とぶつかって、下半身が馬になっちゃった…。楽しいお笑いえほん。

『学研ひみつシリーズ』とは？



図書館の児童コーナーでよく借りられる本に学研の『〇〇のひみつ』シリーズがあります。

ほぼ毎月新刊が出版され、漫画で描かれているのでわかりやすく、小学生を中心に根強い人気があります。

内容は世の中の様々な製品、サービス、職業、業界などをストーリー漫画で紹介するというもので、市販はされておらず、すべて学研からの寄贈となっています。「ひみつシリーズ」と呼ばれることが多いのですが、『学研まんがでよくわかるシリーズ』が正式なシリーズ名です。

学研の「ひみつシリーズ」と言えば、生き物や歴史といった内容があったもの(下記左端)が有名で、読んだことのある方もいるかもしれませんが、それらと「まんがでよくわかるシリーズ」は別シリーズとなります。どちらも「ひみつ」とタイトルに入っているのでもぎらわいですが、書店で販売されることはないので、図書館でしか読めないという意味希少な本と言えるかもしれません。



児童コーナーに並んでいる「学研まんがでよくわかるシリーズ」



中には珍しいジャンルを取り上げたものもあります。



こちらが元祖「ひみつシリーズ」



記念すべき第1作



なぜか貸し出しが多い



個人的におすすめな



2022.8時点での最新刊シリーズ184巻目

新刊案内(一般書・YA向け図書)

〈一般書〉



『ヤングケアラー』とは誰か』村上 靖彦//著 (朝日新聞出版)

長期脳死の兄の「身代わり」として、親の前で頑張っで見せる子。ろう者の母親を手話通訳するうちに「私」が消えていく子…。介護や家事労働だけが「ケア」ではない。ケアする子どもたちが体験する孤立を「語り」から考える。



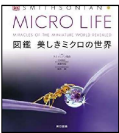
『レペゼン母』宇野 碧//著 (講談社)

梅農家を営むおかんの唯一の気がかりは、借金まみれのダメ息子・雄大のこと。ある日、偶然にも雄大がラップバトルの大会に出場することを知り、明子はマイクを握り立ち上がる…。『小説現代』掲載を書籍化。



『自分でできる子』に育つ放課後時間の過ごし方』遠藤 奈央子//著 (講談社)

自主学習のクセが身に付き、「読む・書く・考える」力が育つ! 放課後時間に家庭でできる「差がつく」育て方のヒントを紹介。子どもの10年後が大きく変わる声かけや工夫など、今すぐ実践できるコツが満載。



『MICRO LIFE』スミソニアン協会//著 (東京書籍)

動物・植物・菌類など、小さな生物から大きな生物まで、ダイナミックな超拡大写真で解説する図鑑。「栄養の摂取」「生殖」といった機能と生態によるテーマ別の構成で、生命活動全体と部分の関係をいきいきと伝える。



『ま、いいか。』玉置 妙憂//著 (大和出版)

自分は「こんなものだ」と知ることで毎日がちょっと楽になる。そこに存在しているだけであなたはもう必然のなかの大切な一片。日々揺れながらも人生がもっと気楽に生きられる39のコツを紹介します。

〈YA(中高生)向け図書〉



『数奇な航海』川井 龍介 //著 (旬報社)

私の名前は第五福龍丸。1947年に造られ、マグロをとる仕事をしていました。しかし、ある事件がきっかけで、私は漁船として使い物にならなくなってしまい…。死の灰を浴び、捨てられ、そして復活した、ある船の物語。



『おにのまつり』天川 栄人 //著 (講談社)

岡山の夏の風物詩、うらじゃ。中3のあさひは、先生からコーチ役を頼まれ、同級生4人の“問題児”とともに「鬼の祭り」うらじゃに参加することに。練習を重ねるうち、5人は理解し合い…。5人の中学生たちの心の解放の物語。

情報提供: 図書館流通センター

新刊案内(児童書・郷土資料)

〈児童書〉



『やまの動物病院』なかがわ ちひろ //著 (徳間書店)

町のはずれの、いちばん山に近いところにある小さな動物病院。そこでは夜になると、動物のお医者さんのまちの先生と暮らす大きなとらねこの「とらまる」が、こっそり山の動物たちの病気を治して…。楽しいお話。



『妖怪なんでも入門』水木 しげる //著 (小学館)

昭和の時代に子供向けの妖怪入門書としてベストセラーとなった歴史的名著を、水木しげるの生誕100周年を記念して完全復刻。妖怪画と水木しげるの名言が入ったミニ屏風つき。



『すけすけのりもの』なかしま じゅんこ//著 (偕成社)

みきちゃんとパパが持っている魔法のめがねをかけると、乗り物がすけるんだ。さあ、みきちゃんといっしょに町に出て、いろんな乗り物を見てみよう。なにに乗っているか、わかるかな? 見返しに探し絵遊びあり。



『みんなが知りたい! 単位のすべて』「単位のすべて」編集室 //著 (メイツユニバーサルコンテンツ)

算数や理科で使う単位のほか、日常生活で見かけるさまざまな単位について、使われ方や成り立ちを解説。豊富な写真やイラストで、単位そのものだけでなく、その単位を使う対象に

情報提供: 図書館流通センター

〈郷土資料〉



『学び舎の記憶』馬場 和久//著 (0982株式会社)

松葉小学校、城小学校、三川内中学校、安井小学校、…。延岡にあるたくさんの廃校。子どもたちの“世界の中心”であった学校がなくなり、さらにその名残さえ消えてしまう前に、「学び舎の記憶」を遺したいとクラウドファンディングを行って出版された本。

延岡市立図書館カレンダー

9月							10月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
			1 おはなし会	2 資料整理 休館日	3	4						1	2
5 休館日	6 子ども 映画会	7 えほんのじかん	8 おはなし会	9	10	11	3 休館日	4 子ども 映画会	5 えほんのじかん	6 おはなし会	7 資料整理 休館日	8	9
12 休館日	13	14 えほんのじかん	15 おはなし会	16	17	18	10 祝日開館	11	12 えほんのじかん	13 おはなし会	14	15	16
19	20 子ども 映画会	21 えほんのじかん	22 おはなし会	23 祝日開館	24	25	17 休館日	18 子ども 映画会	19 えほんのじかん	20 おはなし会	21	22	23
26 休館日	27	28 えほんのじかん	29 おはなし会	30			24 休館日	25	26 えほんのじかん	27 おはなし会	28	29	30
							31 休館日						

開館時間 【火～金】9:00～19:00 【土日祝】9:00～17:00 ※時間外の返却は、返却ポストをご利用ください
【えほんのじかん】10:30～11:00 対象:0～3才程度 【おはなし会】16:00～16:30 対象:未就学児 場所:おはなしのへや
【子ども映画会】毎月第一・第三火曜日 15:00～15:30(約30分) 場所:おはなしのへや



図書館HP